

1 学期の総合訪問より

一人一人の子どもが輝く教育活動を！

1学期は、小学校3校・中学校1校の総合訪問を実施しました。
今回は総合訪問1回目の報告として、2校の教育活動の様子について、ご紹介します。
他校の教育活動の特色や工夫点を知ること、お互いに高め合うことができれば幸いです。

奥州市立大田代小学校

『自ら考え 決めて 行動する』子どもの育成をキーワードに、小規模校のよさを生かしながら、全職員で情報を共有し、地域とのつながりを大切にした教育活動を展開しています。

●「確かな学力」と「人間関係づくりの力」を育む授業
「いわての授業づくり3つの視点」に基づいたわかる授業づくりに取り組むとともに、一人一人に「考える場」「判断する場」「表現する場」「認め合う場」などの出番を保障し、「わかった」「できた」「認められた」という自己有用感の醸成に努めています。

また、月1回の国語大会・算数大会や学童クラブや家庭との連携を取りながら家庭学習の習慣化を図り、学力向上の推進に努めています。



●田原中との合同授業の実施

校庭を挟んで隣接する田原中学校と合同で、運動会、文化祭を実施したり、5・6年の体育・音楽の授業は、中学生と一緒にいたりすることで、普段の少人数の授業ではできないゲーム型の活動や合唱等を体験させる機会を作っています。

●いじめを許さない学級・学校づくりの推進

全職員で、「いじめは許さない」という強い姿勢で指導に当たるとともに、道徳の授業を要とした道徳教育・人権教育の充実に努めています。



一関市立金沢小学校

『あいさつで笑顔いっぱい ありがとうで優しさいっぱい』を今年度のスローガンとして掲げ、「学力向上」「こころの教育の充実」「体と心をつなげて」の3つを柱に教育活動に取り組んでいます。

●ことばの力の育成

週4回、朝学習の後の8:25~8:35を「朝日の時間」とし、子どもに紹介したい・声に出して読ませたい詩、俳句、古文などに触れさせたり、言葉遊びなどを行ったりしています。美しいことばに触れ、美しいことばを音声化することを通して、ことばの感性を養い、豊かな心の育成、脳の活性化を図っています。



●「聴き合う」「伝え合う」「認め合う」授業の充実

「聴く」ことを徹底させ、自分の考えを互いに伝え合ったり、他者の考えを認めたりすることができる『全員参加型』の授業を目指しています。



●地域・PTAとの連携

地域行事である大名行列や交通安全パレードへの参加、金沢自然愛護少年団の活動、伝統芸能「鶏舞」の継承活動等、地域に根ざした特色ある教育活動を展開しています。

また、新宿区立市谷小学校との交流は、今年度30周年の記念の年を迎えます。



学力向上にかかわって

《佐藤和男所長の挨拶より》



- ① 組織的に授業改善を図る学校体制の確立
- ② 子どもたちの実態に立脚した取組
- ② いわての授業づくり3つの視点を踏まえた授業

